

久留米大学附設高等学校同窓会

東京支部総会&懇親会のご報告

令和五年十一月二十五日（土）、大手町サンケイプラザホールにて東京支部総会および懇親会を開催いたしました。主に関東地区在住の卒業生、町田校長・恩師の中島健治先生、また高牟礼会幹部の皆さま等の来賓含め、総勢二二〇名の参加を得て、コロナ禍以来四年振りとなる飲食を伴う懇親会で、旧交を盛大に温める機会となりました。

コロナ禍を経て、我々を取り巻く環境は大きく変化しましたが、そんな中だからこそ『再会・再開、新たなバトンをつなぐ』をテーマに、総会の運営・参加者登録や企画・会計に至るまで、あらゆる世代が参加しやすく、また来年も来なくなる仕掛け・雰囲気作りを目指しました。

企画は三つ。高校六〇回生三名による、先端医療や生成AI研究に関するプレゼンテーション。三年前にコロナにより実開催が叶わなかった高校三十七回生の丸山幹事長による校歌のルーツを探す研究発表。そして、母校の立地・校舎にまつわる歴史・地理の謎を解き明かす渾身の動画コンテンツ。それぞれご来場の皆さんに楽しんでいただきつつ、全世代で母校への想いを一つにしながら、次の世代にバトンをつなぐきっかけ作りになったのではと自負しています。

来年は、十月五日に同じく大手町サンケイプラザホールで東京支部総会および懇親会を開催予定です。四十一回生の宮武博史幹事長を中心とした幹事団が、新たなバトンを更につなぐ総会を盛り上げてくれることと思います。どんな仕掛けが待っている



四十回生幹事長 齋藤崇之)

るのか、ちょっと気が早いと言われそうですが、今からとても楽しみです。(